



# ラーチャプルック ราชพฤกษ์

※「ラーチャプルック」はタイを代表する花、ゴールデンシャワーをタイ語で表現したものです。

## いよいよ分散登校が始まります！

中学部教頭 根本 紀男

6月16日(火)、タイ教育省私学監督局の訪問があり、ディレクター(タイ人校長)のオースム先生より分散登校の方法と各教室などの施設の利用について説明をしました。その結果、無事に許可が下り、7月1日(水)より子供たちが登校しての授業が始まります。4ヵ月前までは当たり前にあった日常の風景が、まだ部分的ではありますが戻ってくるのを今から楽しみにしています。

さて、在宅で新年度の学習に取り組んできた子供たちは、「ようやく学校に行ける!」「友達に会える!」「今年の先生は優しいかな?」「コロナが怖いな!」等、いろいろな気持ちを抱きながら、また例年以上に神経を使いながら登校してくるのではないかと思います。子供たち一人一人の抱える不安をしっかりと受け止め、これまで以上に寄り添いながら教育活動を進めていくことが重要だと考えております。

しかし、令和2年度派遣教員61名が未着任のままのスタートです。引き続きご理解とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

### これからの教育に必要なこと

このコロナ禍の中で、学校の役割は、学習指導を行う役割だけではなく、子供同士のつながりをつくる役割であったり、教師が子供とのつながりをつくることで、子供の学習や生活を見守り、支援したり、ときには導いたりする重要な役割があることを再認識しました。これまでの学習の遅れを取り戻さなければならないと必死に知識を詰め込むような、学力だけに特化した方向ではなく「周りの人たちと共に学び、同時に自

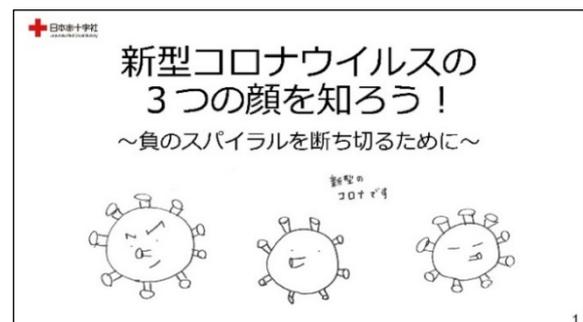
分で考え行動することができる子供を育てること」をしっかりと見据えていきたいと思っております。

今後も、コロナ禍の中では「制限されること」が多いですが、「コロナ禍だからできること」や「コロナ禍だから発見できること」もあると思っております。まだまだ不便で心配な状況は続きますが、みんなで協力して、明るく前向きに過ごしていけたらと考えております。

### 負のスパイラルを断ち切るために・・・

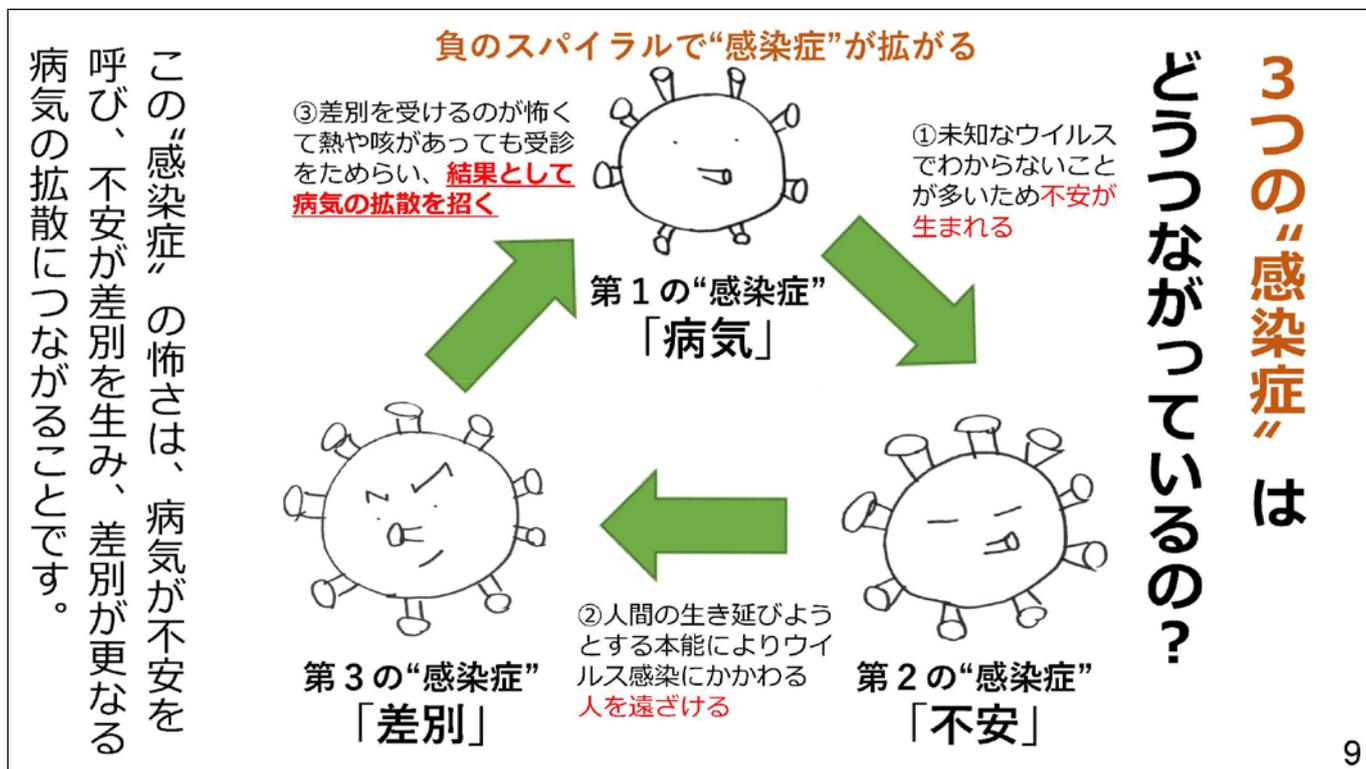
学校として、新型コロナウイルス感染症の対策を可能な限り進めております。分散登校を開始するに当たり、3ページ以降に保護者の皆様へのお願いが記載されておりますので、ご確認の程、よろしく願いいたします。

最後に、新型コロナウイルス感染症に関連して、誤った情報に基づく不当な差別、偏見、いじめ等があってはなりません。子供たちが正しい行動をとることができるように、ご家庭におかれましてもご支援していただきますよう、よろしくお願い申し上げます。次ページに、日本赤十字社が公開している資料“新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう!”をまとめましたので、参考にさせていただければ幸いです。



日本赤十字社ホームページより

[http://www.jrc.or.jp/activity/saigai/news/200326\\_006124.html](http://www.jrc.or.jp/activity/saigai/news/200326_006124.html)



新型コロナウイルスが怖いのは、「3つの“感染症”」という顔があることです。知らず知らずのうちに私たちも影響を受けています。

**第1の“感染症”は病気そのものです**

このウイルスは、感染者との接触でうつることがわかっています。感染すると、風邪症状や重症化して肺炎を引き起こすことがあります。

**第2の“感染症”は不安と恐れです**

このウイルスは見えません。ワクチンや薬もまだ開発されていません。わからないことが多いため、私たちは強い不安や恐れを感じ、ふりまわされてしまうことがあります。それらは私たちの心の中でふくらみ、気づく力・聴く力・自分を支える力を弱め、瞬間に人から人へ伝染していきます。

**第3の“感染症”は嫌悪・偏見・差別です**

皆さんも、ウイルスに関する悪い情報ばかりに目が向いていたり、なにかとウイルスに結び付けて考えたりしていませんか？

「あの人咳している・・・コロナなんじゃない」  
「あの地域はコロナが流行っているからあそこでものを買うのをやめよう・・・」

「熱があるけど怖いから黙っていよう・・・」  
このように思い、行動することから“感染症”は広がっていきます。この“感染症”の怖さは、病気が不安を呼び、不安が差別を生み、差別が更なる病気の拡散につながることで。

**第1の“感染症”をふせぐために**

一人一人が衛生行動を徹底しましょう。  
「手洗い」「咳エチケット」「人混みを避ける」など、ウイルスに立ち向かうための行動を、自分のためだけでなく周りの人のためにもすることが大切です

**第2の“感染症”にふりまわされないために**

不安や恐れは私たちの『気づく力』『聴く力』『自分を支える力』を弱めます。

**『気づく力』を高める：まずは自分を見つめてみましょう**

- ・立ち止まって一息入れる。(深呼吸、お茶を飲む)
- ・今の状況を整理してみる。
- ・自分自身をいろいろな角度から観察してみる。
- 『聴く力』を高める：いつもの自分と違う所はありませんか？
- ・ウイルスに関する悪い情報ばかりに目が向いていませんか？
- ・なにかと感染症に結び付けて考えていませんか？
- ・趣味の時間や親しい人との交流が減っていませんか？
- ・生活習慣が乱れていませんか？
- 『自分を支える力』を高める：自分の安全や健康のために必要なことを見極めて自ら選択してみましょう
- ・ウイルスに関する情報にさらされるのを制限し、距離を置く時間を作る。
- ・いつもの生活習慣やペースを保つ。
- ・心地よい環境を整える。
- ・今自分ができていることを認める。
- ・今の状況だからこそできることに取り組んでみる。
- ・安心できる相手とつながる。

**第3の“感染症”をふせぐために**

不安を煽ることは病気に対する偏見や差別を強めます。

- ・「確かな情報」を広めましょう。
- ・差別的な言動に同調しないようにしましょう。
- みなさんそれぞれの場所で感染を拡大しないように頑張っています。
- ・小さな子どものいる家庭 ・自宅待機している人
- ・治療を受けている人とその家族 ・医療従事者
- ・高齢者 ・日常生活を送って社会を支えている人
- この事態に対応しているすべての方々をねぎらい、敬意を払いましょう。

**まとめ**

このように、新型コロナウイルスは、3つの“感染症”という顔を持って、私たちの生活に影響を及ぼします。このウイルスとの戦いは、長期戦になるかもしれません。それぞれの立場でできることを行い、みんなが一つになって負のスパイラルを断ち切りましょう！

※分散登校開始に関する詳細（登校判断、準備していただくもの、入校時の流れ等）につきましては、学年の Google Classroom に掲載されている「学校だより」をご覧ください。